



平成16年  
6月5日号

No. 1167

● 毎月5・15・25日発行

広報

かもがわ

- 編集発行・鴨川市役所秘書課  
広報広聴係
- 電話・0470(93)7827
- FAX・0470(93)7850
- 鴨川市横渚1450
- 郵便番号・296-8601

城西国際大学・和田誠基教授と学生の皆さん



## 城西国際大学の市民参加型講座 「鴨川塾」が開講します

城西安房  
ラーニングセンター

6月19日から  
第1回講座

「稲作文化を体験する」

学生たちとユニークな課題に挑戦して

真新しいキャンパスで学んでみませんか。城西国際大学の市民参加型講座「鴨川塾」が、いよいよ六月から開講します。第一回のテーマは「稲作文化の体験」。石包丁による稲刈りや土器を使った米の調理・試食などの体験を通じて、日本の稲作文化を考えていきます。会場は、太海多目的公益用地にオープンしたばかりの「安房ラーニングセンター」です。同大学では今後も、健康や科学、語学、歴史・文化などを題材にユニークな講座を予定しています。どうぞ、ご参加ください。

「鴨川塾」は、城西国際大学プロジェクト教育センターの協力で開催される市民参加型講座で、太海多目的公益用地の「城西安房ラーニングセンター」を主会場に行われます。

この講座の特徴は、健康や環境、福祉、観光など地域に身近なテーマに、ユニークな野外活動・体験実習を取り入れている点です。

また、同大学の学生とともに課題に取り組む楽しさ、このコースの魅力です。

第一回の鴨川塾は、「稲作文化を体験する」をテーマに、下表の内容で六月十九日から始まります。

鴨川塾では、第二回講座として「竹文化体験講座」

11月から「竹文化体験も多彩な講座にご期待を

参加費は無料です。どうぞ、気軽に「ご参加ください。申し込みなど詳しくは同大学の物質文化研究センター（0475(55)7494）へ。

講座の内容は、石包丁や民具を使った稲刈りや脱穀をはじめ、土器を利用した米の調理・試食などで、これらの体験を通じて弥生時代や江戸時代の農法や稲作の歴史、日本の食文化にふれることができます。

活動には、同大学の教員が指導者として付き添いますので、専門的な知識も得ることができます。

講座の内容は、石包丁や

を十一月に行うほか、薬草

や薬膳料理、福祉ボランティア

などバラエティに富んだ

講座を予定しています。

さらに同大学が進める

「ベース・カレッジ」では、

里見八犬伝解説やインターネット、高齢者社会と地域

づくり、語学学習講座など、

皆さんの学習意欲をそそる

講座が続々と登場します。

どうぞ、ご期待ください。

ラーニングセンターを会場に

城西国際大学の公開講座

施設の見学会も

毎年開催の「城西国際大学公開講座」は、城西安房ラーニングセンターに会場を移して行います。

聴講は無料。講義に先立ち、施設の見学会（三十分程度）も予定しています。

申し込みは市生涯学習課

雄氏

▽七月十日（土）Ⅱ「賢い

ためのやさしい経済」

▽七月三日（土）Ⅱ「自立

する消費者とライフプラン

経営情報学部教授の宇野政

氏

▽七月十七日（土）Ⅱ「賢

く利用しよう、インターネット

リポートショッピング」経営情

報学部教授の福田順子氏

▽九月十八日（土）Ⅱ「長

寿のためのくすりの利用」

報学部教授の奥山恵美氏

▽十月二日（土）Ⅱ「医薬

品の有効性と安全性の確保」

薬学部教授の児玉庸夫氏

※会場は城西安房ラーニン

グセンター（太海多目的公

益用地）。時間は午後一時

三十分から三時三十分まで

※受講は一回単位でも可

（0475(55)7494）へ

### 城西国際大学（東金市）へ行こう 「水田美術館」の見学ツアー

安房ラーニングセンターの完成によって、市と城西国際大学との文化・教育面での結びつきは、ますます強くなっています。そこで市では、同大学に



ついて皆さんに理解を深めてもらおうと、東金市にあるキャンパスの見学ツアーを企画しました。ツアーのハイライトは、同大学「水田美術館」の見学です。開催中の「摺物展」では、市が所蔵する美しい木版画の名品を紹介。江戸庶民文化の一端にふれていただけます。また、普段見ることができないキャンパスの見学や学生食堂での昼食などで、「一日大学生」を体験できます。どうぞ、気軽にご参加ください。

▷日時 7月7日（水）午前9時に市役所出発（移動教室バス利用）

▷見学先 東金市・城西国際大学キャンパス

▷内容 水田美術館の「藤澤衛彦コレクション・摺物展」やキャンパス内部の見学、学生食堂での昼食など

▷参加費 1,500円（視察資料、昼食代など）

※申し込みは郷土資料館（0475(55)7494）へ。定員40人になり次第締め切り

「薬用植物利用の注意点」薬学部教授の奥山恵美氏▽十月二日（土）Ⅱ「医薬品の有効性と安全性の確保」薬学部教授の児玉庸夫氏※会場は城西安房ラーニングセンター（太海多目的公益用地）。時間は午後一時三十分から三時三十分まで

※受講は一回単位でも可

（0475(55)7494）へ

※ご意見は市企画振興課

（0475(55)7494）へ

（0475(55)7494）へ

（0475(55)7494）へ

（0475(55)7494）へ

（0475(55)7494）へ

（0475(55)7494）へ



市民の皆さんの「新しい教室」です

### 鴨川塾「稲作文化体験」プログラム

| 日程       | 場所                     | 内容                        |
|----------|------------------------|---------------------------|
| 6月19日(土) | 安房ラーニングセンター（太海多目的公益用地） | 弥生時代の収穫具「石包丁」や調理具の「土器」を製作 |
| 9月5日(日)  | 大山千枚田                  | 石包丁を使って稲の刈り取り体験           |
| 9月11日(土) | 大山千枚田                  | 土器の野焼き                    |
| 9月12日(日) | 大山千枚田                  | 千歯こきなど民具を使って脱穀作業          |
| 9月26日(日) | 大山千枚田                  | 土器を使って収穫米の調理や試食体験         |

▷参加費 無料（弁当、筆記用具、手袋を持参）

▷申し込み 城西国際大学の物質文化研究センター（0475(55)7494）へ。先着15人で締め切り

※作業は同大学の学生と共同で行います。動きやすい服装、運動靴でご参加ください

### 地域振興アドバイザーの目

第一期「鴨川まちづくり未来塾」を終えて（一）

平成十五年度に開講した「鴨川まちづくり未来塾」は三月末に報告書を市に提出した。初年度は「食」をテーマに検討を重ねてきたが、鴨川にもすばらしい食材があったことを再確認して一応のけじめとなった。▼すばらしい食材の第一は何と言っても「長狭米」であった。明治四年に献上米の産地指定を受けただけに、その美味しさには定評がある。特に嶺岡山系の土壌と水質が良質な米の秘密。加えて近時、有志による古代米が復活栽培され、赤米、黒米として評判を呼んでいる。さらに大山千枚田が脚光を浴びてから「棚田」も話題になってきた。棚田だんご、棚田焼きおにぎりなどは、都会人の関心を集めそうだ。▼魚も鴨川沿岸では魚種が多い。イワシ、アジ、サバ、ブリに加え、マダイ、キンメダイ、カツオ、ヒラメ、太刀魚、カワハギ、フグ、イカ、マンボウなど多彩だ。いずれも鴨川を訪れた人はとれたてを食いたいと思っている。だれもが賞味する手立てが欲しいに違いない。▼未来塾を始めた頃はメンバーの多くが、鴨川には自慢できる食べ物があまりないという認識であった。地元の人たちにとってはいつでも食べられるから、それととりたてて自慢するほどのことではなかったのかも知れない。だが、これも今回の未来塾で鴨川の貴重な財産であることを再認識した。問題はこうした地域資源（財産）を、今後どうして地域の活性化に生かしていくかだ。（記・下村恵保）※ご意見は市企画振興課（0475(55)7494）へ